

カンファレンスコール用資料

# 2007年度 第1四半期決算

(2007年4月1日～2007年6月30日)

開催日時 2007年7月31日(火)  
17:30～18:30



第一三共株式会社

# 2007年度 第1四半期 (前年同期との比較 ①)

(単位:億円)

	2006年度 第1四半期 (4-6月) 実績				2007年度 第1四半期 (4-6月) 実績				増減	
	①	非医薬品 事業	米国子会社 決算期変更	特殊要素 除外後②	③	非医薬品 事業	欧州子会社 決算期変更	特殊要素 除外後④	単純比較 ③-①	実質比較 ④-②
純売上高	2,705	309	315	2,081	2,355	81	141	2,133	-350	52
売上原価	736	192	51	493	579	71	36	472	-157	-21
販管費	982	73	156	754	771	10	83	678	-211	-76
研究開発費	379	19	18	342	327	2	3	322	-52	-20
販管費計	1,362	92	174	1,095	1,099	12	86	1,000	-263	-95
営業利益	608	25	90	493	678	-2	19	662	70	169
営業外損益	71	2	15	54	38	0	2	36	-33	-18
経常利益	678	26	106	546	717	-2	22	697	39	151
特別損益	159	201	-10	-32	-2	17	0	-18	-161	14
法人税等	358	114	38	206	301	2	1	298	-57	92
当期純利益	480	113	58	309	414	13	20	381	-66	72

\* 本資料では、現在グループ外化を推進中の非医薬品事業の業績、並びに欧米子会社の決算期変更による影響を特殊要素としてとらえています。従いまして、実質的な比較を容易にするために、これらの影響を除外した業績を特殊要素除外後として表示しております。

# 2007年度 第1四半期 (前年同期との比較 ②)

(単位:億円)

特殊要素 除外後	2006年度 第1四半期 (4-6月)	2007年度 第1四半期 (4-6月)	実質増減	備 考
純 売 上 高	2,081	2,133	52	オルメサルタン +111, レボフロキサシ +45 プラバスタチン -58, Plavix ('06.1Q:一時金収入計上) 等 (為替影響 +47 \$115.7→120.8円, ユーロ140.7→159.6円)
売 上 原 価	493	472	-21	原価率 23.7→22.1%(-1.6ポイント) 製品構成改善
販 管 費	754	678	-76	
研 究 開 発 費	342	322	-20	研究開発費率 16.4→15.1%(-1.3ポイント)
販 管 費 計	1,095	1,000	-95	国内要員数適正化による人件費減少等。
営 業 利 益	493	662	169	営業利益率 23.7→31.0%
営 業 外 損 益	54	36	-18	
経 常 利 益	546	697	151	経常利益率 26.2→32.7%
特 別 損 益	-32	-18	14	
法 人 税 等	206	298	92	
当 期 純 利 益	309	381	72	当期利益率 14.8→17.9%

# 2007年度 業績予想 並びに 第1四半期進捗状況

(単位:億円)

	2007年度 業績予想 5月公表値から変更なし			2007年度 第1四半期 実績				欧州決算期変更影響除外		
	上半期	下半期	年度計	非医薬品 事業	医薬品 事業	上期進捗率	上半期 業績予想	第1四半期 実績	上期進捗率	
純売上高	4,160	4,210	8,370	2,355	81	2,274	54.7%	4,019	2,133	53.1%
売上原価	1,000	1,005	2,005	579	71	508	50.8%	964	472	49.0%
販管費	1,590	1,590	3,180	771	10	761	47.9%	1,507	678	45.0%
研究開発費	820	795	1,615	327	2	325	39.6%	817	322	39.4%
販管費計	2,410	2,385	4,795	1,099	12	1,087	45.1%	2,324	1,000	43.0%
営業利益	750	820	1,570	678	-2	680	90.7%	731	662	90.6%
営業外損益	50	30	80	38	0	38		48	36	
経常利益	800	850	1,650	717	-2	719	89.9%	778	697	89.6%
特別損益	-15	-35	-50	-2	17	-19		-15	-18	
法人税等	345	335	680	301	2	299		344	298	
当期純利益	440	480	920	414	13	401	91.1%	420	381	90.7%

\*今回の業績予想は5月に公表した時と同様、現在グループ外化を推進中の非医薬事業会社の業績を含んでおりません。

# 主要製品の状況

## ● 主要製品売上高

(単位:億円)

製品名	2006年度	2007年度 業績見通し 5月発表値から変更なし		2007年度 第1四半期 実績				
	第1四半期 実績 ①	年度 ②	上半期 ③	第1四半期 実績 ④	対見通 進捗率 ④/③	対前年増減		
						④-①	参考値	
GLOBAL	オルメサルタン <血圧降下剤>	512	1,950	955	531	55.6%	18	111
	レボフロキサシン <広範囲経口抗菌剤>	250	1,080	510	295	57.8%	45	
	プラバスタチン <高脂血症治療剤>	259	780	405	217	53.5%	-42	-58
日本	カルブロック <血圧降下剤>	21	135	60	25	42.1%	4	
	アーチスト <血圧降下剤>	52	230	115	55	47.8%	3	
	クレメジン <慢性腎不全用剤>	32	130	65	31	47.1%	-1	
	ロキソニン <鎮痛・抗炎症・解熱剤>	79	350	170	83	48.6%	3	
	オムニパーク <非イオン性造影剤>	85	340	180	82	45.7%	-3	
	ユリーフ <排尿障害改善剤>	8	80	29	11	38.0%	3	
米国	ヴェノファー <貧血治療剤>	138	210	100	68	67.7%	-70	-1
	ウェルコール <高脂血症治療剤>	87	225	100	58	58.0%	-29	10

注: 決算期の変更により、2006年度は米国子会社、2007年度は欧州子会社について決算期を12月から3月に変更しており1月から3月までの3か月分の業績が夫々前年第1四半期と本年第1四半期に加算されています。そのため、これによる影響を除外した増減額を参考値として表示しています。

# 開発パイプライン (2006年度決算時からの変更点)

開発番号	開発ステージ変更前	開発ステージ変更後	備 考
CS-011	日本：－	日本：Phase2	・ 糖尿病治療剤（グリタゾン系）
AMG162	日本：－	日本：Phase3	・ 抗RANKL抗体（デノスマブ） ・ 癌骨転移
	日本：－	日本：Phase2	・ 抗RANKL抗体（デノスマブ） ・ 骨粗鬆症

本資料に関するお問い合わせ先

**第一三共株式会社**  
**コーポレートコミュニケーション部**

**TEL: 03-6225-1126**

**FAX: 03-6225-1132**

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

つくっているのは、希望です。



**第一三共株式会社**